整理No.	22

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	122-01	基本施策	高齢者の社会参加の促進	所管部局	保健福祉部
施　策　名	社会参加活動の支援			主担当課	高齢者福祉課
				関係部局課	商工観光部産業政策課
施策の目標	高齢者の地域における主体的な活動を支援することにより、地域社会で高齢者の経験と知識をいかせる環境を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
高齢者の自主的な生きがい活動を支援するとともに、自らの生活意欲の向上を図るなど、積極的に社会活動に参加できる環境づくりを推進する。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H24）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
老人クラブ会員数	人	20,167	20,167	19,679				19,679
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
老人クラブに加入している会員数	高齢化率が上昇する中で、老人クラブの加入率が年々減少傾向のため、評価対象年度の前年実績を目標として加入の促進を図る。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H19）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
おでかけパスポート平均利用回数（１日当たり）	回	4,052	3,583	2,896				3,812
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
おでかけパスポート　１日当たりの平均利用回数	平成23年9月実施した長野市高齢者等一般調査によると、パスポートを利用したことがある方は約50%であったことから、70歳以上の人口(4月)50%の１割を1日当たりの平均利用回数目標値として設定した。							

25年度の取組内容実績	老人クラブ補助金は様式の見直しや改良を行い、ホームページに掲載する等、申請しやすい環境を整え、地区老人クラブ役員の負担軽減を図った。 おでかけパスポートはICカード化によりバス利用者数等が正確に把握できるようになったことから、市の運賃負担を利用実績に応じた額で算出することができた。また、利用促進事業として、老人憩の家と協力してバス乗車キャンペーンを実施した。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	概ね順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	高齢者人口の増加が見込まれる中、自らが地域社会の一員として積極的に社会活動に参加し、高齢期を生きいきと活動的に過ごすことは、介護予防にもつながり、社会保障費の削減にも効果があると考えられる。このため、事業内容を見直しながら、効果的に実施できるよう検討を進めている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	若手高齢者のライフスタイルの変化とともに老人クラブは新規加入者が減少しており、加入促進へ積極的な取り組みが一層必要となっている。また、路線バスの利用率低下が進んでいる中、おでかけパスポートは、ICカード化による利便性の向上に合わせ、様々なキャンペーンを実施し、普及拡大と利用促進に努めている。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	老人クラブは会員の高齢化等の事情から、単位老人クラブ数、加入者数ともに減少が続いているが、高齢者の社会参加を推進するため、新たな会員の加入促進に向けた事業内容の見直しを検討した。 おでかけパスポート事業はICカードシステムに伴い正確な利用実態が把握できるようになった。このため、平均利用回数は一時的に減少となったが、今後の安定した事業運営を行うための環境を整えることができた。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	活動クラブ数及び加入者数の減少、役員の高齢化が年々進んでいる。	地域住民への活動の周知や若手高齢者の関心を起こさせる企画や体験参加活動などにより、老人クラブの活性化と加入率の増加を図る。
2	高齢者の増加及び運賃の値上げ等により、事業費総額の増加が見込まれている。おでかけパスポートは乗車距離に関係なく利用者負担が一律なため、不均衡が生じている。	今後も安定的に事業を運営していくため、ICカードの利用実績の分析に基づく利用者負担及びバス事業者負担について見直しする。
施策展開の方向性（H26年度以降）	平成26年度は次期長野市高齢者福祉計画及び長野市介護保険事業計画の策定作業の年度となることから、社会情勢や高齢者を取り巻く環境の変化に対応した事業内容の見直しを行う。 老人クラブは単位老人クラブ及び老人クラブ連合会への加入率向上を目指し、魅力あるクラブづくりが進むよう支援していく。また、おでかけパスポート事業は今後も安定した運営とするため、運賃負担割合など制度の在り方を検討し、引き続き高齢者の積極的な社会参加の支援につなげる。	

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	老人クラブ補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 高齢者福祉課	高齢者の知識及び経験をいかした生きがいと健康づくりのための自主的な社会活動（会員の健康増進活動、世代間交流活動、社会奉仕活動等）を支援するため、老人クラブに対し補助金を交付する。	平成22年度は市町村合併により実績が伸びたが、以後はクラブ数、人数ともに減少が続いている。
2	おでかけパスポート事業補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 高齢者福祉課	高齢者の積極的な社会参加とバス利用促進を図るため、民間バス事業者と実施するおでかけパスポート事業（市内に住所を有する70歳以上の者が１回の乗車につき100円で一般路線バスを利用できるもの）に要する経費に対し、補助金を交付する。	ICカードシステムの導入により乗車回数の算出方法の変更に伴い、平成25年の実績は前年度から687人（約20%）減少した。
3	シルバー人材センター補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 産業政策課	公益社団法人長野シルバー人材センターの事業運営に要する経費に対して、国が作成する「シルバー人材センター事業執行方針」の補助限度額の範囲内で、信濃町・飯綱町と協議した補助金を交付する。　また、全国シルバー人材センター事業協会及び長野県シルバー人材センター連合会に賛助会会費を負担する。	運営費補助金の交付　1団体 関連する事業協会会費　2団体
4			

番号	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	C	A	A	B	B	継続	32,723	32,036	31,446	31,504
2	C	A	A	B	A	継続	218,547	229,302	148,364	165,536
3	B	B	B	A	A	継続	22,970	22,135	20,512	20,707
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26